



石ころは磁石につく

『石ころは磁石に着く』こう言うと、ほとんどの人が怪訝（けげん）な顔をしながら『ひっつかない』と言います。

そこで、おもむろに強力な磁石を持ち出し、小さな石ころに近づけると石ころは磁石に着きます。『え？え？何で？』こんなやり取りが始まるのです。

あるとき神戸で兵庫県内の中小企業を集めた産業展の会場、石材加工業者の組合が灯籠や墓石、石材を使った外壁などを展示し、お客さんにアンケートを取り、アンケートに答えた方に御影石の文鎮を贈呈していました。

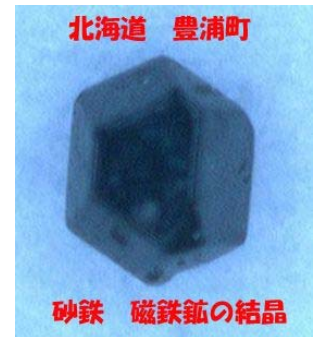
『おっちゃん、この石、磁石に着くやないか？』ちょっとしたいたずらです。『あほか！！磁石に着くんやったら、鉄が入っとうやないか。ほんなら石が錆びるやないか！！』石屋のおじさん顔を真っ赤にして怒りました。

実は、御影石で重そうなもの、色の濃い（緑や黒の）ものはけっこう磁石に着きます。持って行っていた強力な磁石で『おっちゃん、これ磁石に着いたやろ！！』『え！！え！！』『なんでや？？』。磁石に引つ着いた文鎮を頂き、説明せずに帰って来ました。石屋のおっちゃん『狐につままれたような顔で呆然と見送っていました。』

砂鉄が磁石につく事は皆さんご存じなのですが、その砂鉄は強力な磁石につくような石が壊れて川や海に流れたとき、重い砂鉄が帯状に堆積したものです。砂鉄は小さなものですが、磁鉄鉱（Fe₃O₄）の結晶なのです。

砂鉄の中にはまれに綺麗な形をしたものもあります。右の写真は北海道、噴火湾に臨む豊浦海岸で採取したものです。綺麗な形をしています。砂鉄は元の石の材質により、色や大きさに個性があります。茶色っぽい砂鉄、ごま塩のような白混じりの砂鉄、鎌倉のそれは真っ黒でした。

あなたも、磁石を持って浜辺や河原を散策してみませんか？磁石に着く石ころは案外身近なところにも転がっていますよ。



『鉄のふしぎ博物館』開館
来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目がかわりますよ。
ぜひお越しください。



ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
ryou@memenet.or.jp
bike@kanamonoya.co.jp

むらの鍛冶屋®



見学にはご予約が必要です。申込書をメール又は FAX でお願いします。
様式は以下にあります。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/museum/hushigi.doc>

何でもお気軽にお尋ねください！！